



不妊手術（避妊・去勢）について

Q. 不妊手術は必要？

- A. 手術をすることで防げる病気や問題行動があります。ねこちゃんとのより良い暮らしのために、メリット、デメリットを理解し、ご家族皆様が納得された上で選択することをお勧めします。

メリットとデメリット

☆メリット☆

- ・望まない妊娠の回避
- ・問題行動の改善、軽減（スプレー、けんか、徘徊、脱走、発情時の鳴き声など）
- ・けんかによる感染症のリスク低減
- ・脱走時における交通事故の低減
- ・生殖器関連の疾患の予防、リスクの低減
（♀）卵巣腫瘍、子宮蓄膿症、子宮水腫など （♂）精巣腫瘍など

★デメリット★

- ・全身麻酔をかけるリスク
- ・太りやすくなる
- ・ホルモン反応性の尿漏れや脱毛がみられることがある
- ・手術の合併症（感染症、縫合糸反応性肉芽腫など）のリスク

Q. 手術の費用は？

- A. 手術料（以下参照）＋術前検査（血液検査・レントゲン）¥10,100
＋エリザベスカラー代（¥1300～※サイズによる）が基本的な費用です。

♂去勢手術
～ 5kg：¥16,500
5.1kg～：¥18,700

♀避妊手術
～ 5kg：¥25,300
5.1kg～：¥27,500

※女の子はエリザベスウェア
（¥2900）もあります

※追加検査などが必要な場合は
別途費用あり

※再診料、消費税別



Q. どのくらい入院が必要？

- A. 基本的には1泊入院（手術日の午前中に入院、翌日退院）です。
ご希望に応じ日帰りで退院の場合もございます。入院中はご面会も可能です。

Q. 適正時期は？

- A. 一般的に、生後半年から実施可能です。品種や体格、性別によって推奨時期が変わりますのでご相談ください。

※当資料の無断転載、複写はご遠慮ください

～手術の流れ～

事前の診察で、手術についての詳しい説明、日程の相談をします。



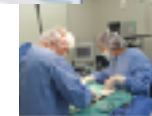
手術当日、体調チェックをしてお預かりします。
（当日は絶食の上、予約時間にご来院ください）
入院、手術の同意書にご署名を頂きます。

血液検査、胸部レントゲン検査を行います。術前検査で手術の回避や延期が勧められる場合は連絡致します。



麻酔中や手術後の薬剤投与や点滴のため、血管確保をします。

気道確保（気管チューブ挿管）をして麻酔をかけます。
手術部位の毛刈り、消毒をし、いよいよ手術です。
避妊手術♀では卵巣・子宮を摘出、去勢手術♂では精巣を摘出します。麻酔中は心拍数や呼吸などを常にモニタリングします。



手術が終了し、麻酔から覚めたら入院室へ。
その日の夜からごはんも食べられます。



翌日（場合によっては当日）、退院です。
手術の様子、術後のケアについてお伝えします。
抜糸まではエリザベスカラーを付けます。
自宅では処方された内服薬を飲んでください。



1週間程度で抜糸をします。

1ヶ月後に術部のチェック、体重測定をします。
手術後は食事量を調整し、肥満を予防しましょう。

★ウイルスチェック★ ¥4,400

猫白血病ウイルス・猫免疫不全ウイルスの検査を術前の血液検査に追加することができます。

★マイクロチップ★ ¥5,000

マイクロチップは迷子や災害時などのいざという時に役立ちます。通常は麻酔なしでも挿入可能ですが、手術の際、麻酔下でのマイクロチップ挿入ができます。

※挿入後、環境省へマイクロチップ情報の登録をお願いします。

ご質問・ご相談があればお気軽にお問い合わせください ときわ動物病院 072-493-6710